

「山とみどりのフェスティバル」に出展!!

北摂の山々が暖色に変わり始め、人の気配を強く感じるようになった令和5年11月3日、明治の森箕面公園の瀧安寺（りゅうあんじ）前広場において、「山とみどりのフェスティバル（主催：箕面市、NPO法人みのお森林山麓保全委員会）」が開催され、当センターは、箕面の森林を感じてもらおう取組として、「松ぼっくりフクロウ作り体験」を出展しました。

今年も例年と同じく好天に恵まれ、また、有名な箕面大滝に向かう「滝道」に近いこともあり、家族連れや訪日の外国の方など、多くの方が立ち寄られました。参加者は、様々な色や形の布を松ぼっくりに付け、自分だけのフクロウを作っていました。中には兄弟で参加し、大小の松ぼっくりを使って自分たちと同じような「兄弟フクロウ」を作ってくれた子もいました。

通りがかる人の中には、林野庁に関りがあり、展示していたパネルを見て当センターの施策に興味を持って質問してくれる方もおりました。また、会場に設置された「ふれあいステージ」では、当センター職員が作った創作紙芝居「雨水のぼうけん」と「もくざいのヒミツ」を上演し、小さな子どもをはじめ多くの方々から好評を得ました。



会場の雰囲気



創作紙芝居『雨水のぼうけん』の上演



できあがり!



『松ぼっくりのふくろう作り』体験



できあがった『松ぼっくりのふくろう』

新森小路小学校で出前授業を行いました



令和6年2月22日（木）、大阪市立新森小路小学校の小学5年生（3クラス、72名）を対象にした森林教室を行いました。今回の森林教室では、冬ということもあり室内でできるネイチャーゲームを通して楽しく身近な森林について学んでもらい、5年生で学ぶ森林の単元の定着を促すことを目的として行いました。

当日は、最初にばらばらにされたヒントを元に動物や植物を当てるネイチャーゲーム（ヒントリレー）を行いました。ゲームに出てくる動物、植物は全て近隣の森で見ることが出来る生物であり、楽しみながら森について少しでも親近感を持っていただく為に行いました。生徒たちは、「これは見たことある糞！」等ヒントについて各々の知識を生かしチームで話し合いながら、答えを導き出していました。最後の結果発表では歓声を上げる程ゲームに熱中していました。

ゲームの後には、森林伐採について、身近な箕面の森についての話をしました。生徒たちは、職員の「木を伐るのは悪いこと？良いこと？」等の質問に対して、森林の単元で習ったことを元に自分自身の答えを導き出し、箕面の山の紹介については「行ったことある」「この動物見たことある」と様々な声をあげて、楽しそうに参加していました。



ネイチャーゲームに熱中



真剣なまなざしで説明を聞く学生達

「草木染め体験」のイベントを開催

できあがり

令和5年12月3日（日）、大阪市北区の桜ノ宮合同庁舎において「サクライロをつくろう～草木染め体験～」を行いました。このイベントは、箕面国有林にて植栽したエドヒガンの良好な生育を促すため、除伐等の手入れを行った際に出た枝などの有効活用を目的として開催しています。

イベント当日は風が冷たい一日ではありましたが、子どもから大人まで12名が参加しました。兵庫県から講師1名に来ていただき、参加者はビー玉やひもを使って布に模様をつけた後、講師のアドバイスを聞きながら桜の枝から煮だした染料液で染める作業を行いました。作品を作り終えた参加者からは「きれいな色に染まって嬉しい。」などの感想が聞かれ、楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。



染色方法を教わってる様子

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター
TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055
〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/
E-mail: kc_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。 こだま通信 No. 124 page2

